



修文錬磨

令和4年5月31日

第2号

八幡平市立西根中学校
(文責：千葉美紀)

組団の枠を超えて

新型コロナ感染拡大による休校のため、5月19日(木)に体育祭が行われました。平日開催ではありませんでしたが、たくさんの保護者の皆さまにご観覧いただき、大成功に終わることができました。お忙しい中、脚をお運びくださり、ありがとうございました。

今年度の三年生は、『組団が団結して取り組む』ことはもちろん、『組団の枠を超えて学校全体が一つになる』ことを目指して全校をリードしてくれました。

例えばパネル作成では、全組団が同じ場所で作業をすることで刺激し合っていました。それにより、全組団がより高みを目指すことができました。

また例年は、組団練習と並行してパネル作成を行っていました。そのため、組団が揃って取り組む期間が限られていました。今年度は春休みから取り組むことによって、結団式にはパネルは完成し、組団が揃って体育祭活動を始めることができました。

『さあいきま賞』という新しい賞を創り、『凡事徹底』を強く意識させることにより、『日常生活の土台の上に行事の成功がある』とを示してくれたことも三年生の大きな功績です。

ありがとう、三年生!

※実は、休校のために実現できなかった新計画もあったようですが、これは、次の代に渡すバトンとなることと期待します。(詳細は、今は秘密にしておきます。)





次は、大会、コンクール、そして地域での活躍

体育祭で素晴らしい力を発揮してくれた西中生。

次は、運動部は中総体、吹奏楽部はコンクール、そして美術部は様々な場面での出品が期待されます。そして、各地区で計画されているイベント。地域で活躍する西中生の姿が楽しみです。

保護者の皆さま、地域の皆さま、ますます活躍する西中生に、ご期待ください。